

社会人対象講座 キャリアアッププログラム

Basic subject Career Up Program

広島経済大学キャリアアップ・プログラム・メールマガジン 第121号(2014.08.07 発行)

なお、本メールが不要な方は career-up@hue.ac.jp までご連絡ください。

【お知らせ】

- 2学期、3学期のCP/CS 受講生 <<募集中!>>
- 広島経済大学 CP 通信をお送りできる方をご紹介します!

【目次】

- ・巻頭言 広島経済大学 経済学部
経済学科 教授 一橋 信之
- ・経大見聞録
- ・2学期キャリアアップ・プログラム(CP)講義の授業計画ご紹介
『確率・統計入門』
『マーケティングの基礎』
- ・2学期カルチャー講座(CS)の授業計画ご紹介
『乱世を生きた人々』 ～戦国軍記の群像～
- ・2学期の講座ラインナップと受講料
- ・ネパール騒動記『ネパールからナマステ』 Packer Taka
- ・読者の皆様からのエッセーの投稿をお待ちしております
- ・キャリアアップ・プログラム(CP)/カルチャー講座(CS)または本学に関する、ご質問やお問い合わせ

■巻頭言

広島経済大学 経済学部

経済学科 教授

一橋 信之

1学期 CP 講師『わかる!法人税』

老いと時間の長さ

私は小さいころから「法則」とか「定理」というものが好きでした。大学はずっと理系を志望していましたが、どういうわけ

か文系の経済学部に入りました。これは、ある啓蒙的な社会科教師のせいです。高2のときの政治経済の授業の時にその教師が黒板にケインズの非自発的失業の式とグラフを描き、「社会はこうなっている、これが失業の法則だ。」と説明しました。当時高校の授業でケインズを教える教師は少なかったと思います。「おお～すごい、たった一つの法則で社会が分かってしまうのか」と感動し、経済学部を決めたのです。それ以来、自然科学ではなく社会科学系の法則を追っかけることになりました。

そのような法則の中から、今回は、最近いろいろ考えさせられた心理学の法則の話をしたいと思います。それは「ジャンネの法則」というものです。科学的とは言い難い俗っぽいネタ的な法則ですが、これがなかなか面白い。まず、ジャンネの法則を簡単に言えば、「歳をとるほど心理的な時間は短くなる」というものです。これはフランスの哲学者ポール・ジャンネ (Paul Janet; 1823-1899) の説ということで、人間の心理的な時間の長さはその人が人生を生きてきた時間の長さの逆数に比例するというこのようです。10歳の子の1年はこの子の中では10分の1でかなり大きく、60歳の大人の1年は60分の1に過ぎずかなり小さいものであると原典では説明されているそうです。たしかに年を取ると1年が速く感じられます。最初は、そういうことって、あるある！と感じ入ったのですが、よく考えてみると少し修正した方がいいと思いました。それは、人の主観的な時間の長さは、経過した時間よりも残された時間の方が重要ではないだろうか。もしそうなら、この法則は、「人の主観的な時間の長さは、その人の余命に比例する」と修正されます。いずれの考え方も、年を重ねれば時間が短く感じられるということでは同じです。ちがいは、本家のジャンネの法則は、生きてきた年数が事実として確定しているから心理的時間の長さが確定数になるのに対して、私が修正した方式では余命が確率的、すなわち死期が不確定という意味で主観的時間の長さが確率変数になるということです。

実際に計算してみましょう。いま20歳の若者と60歳の中年を考えます。ジャンネの法則では、20歳の若者の1年は彼の人生の20分の1であり、60歳の中年の1年は60分の1ですから、60歳の中年にとっては20歳の若者よりも1年が3倍速く感じられるというわけです。私の修正は、人生は80歳まで生きるとすれば、20歳の人にとってはまだ60年あり、気長に1年を過ごせるが、60歳の人にとって人生は残り20年程度しかなく大事に1年を過ごさなければならないという焦りが生じ、そのために1年が3倍短く感じられるというものです。ただし、平均余命はその人の年齢に依存します。20歳の平均余命が60年だからといって、60歳の平均余命は20年ではなくもっと長い。最新の平成25年簡易生命表によれば、20歳の男性の平均余命は60.61年、60歳の男性のそれは23.14年ですから、 $60.61 \div 23.14 = 2.6$ 倍となり3倍にはなりません。さらにいえば、主観的時間スピードが問題なのですから、生命表のような集計された数字ではなく、本人自身があと何年生きられると「感じ」ているかに時間の速さが左右されると考えるべきでしょう。ああもう1年くらいで俺もそろそろ終わりか、と思う人の1年は、あと10年は生きてこの仕事を片付けるぞと思っている人の1年の10倍速く過ぎてしまうことになるでしょう。気持ちの持ちようです。

■経大見聞録

本学のHPに掲載してある記事をご紹介します。生き活きた明るい学生の表情がうかがえます。URLをクリックして、本学の学生たちの様子をご覧くださいと思います。

お仕事等の気分転換、コーヒーブレイクにご覧いただけましたら幸甚です。

【7/17】キャリアセンター就職支援プログラム「第7回学内合同企業説明会」を開催しました

<http://www.hue.ac.jp/tagblocks/career/news/news/0000008039.html>

【7/19】太田川キレイキレイプロジェクトが元安川で一斉清掃を実施しました

<http://www.hue.ac.jp/tagblocks/news/news/topics/0000008055.html>

【7/21】11月1日(土)・2日(日)に第47回経大祭を開催します！今年のゲストは・・・？

<http://www.hue.ac.jp/life/gakusai/>

【7/23】マナー向上委員会、学友会が中心となり「キャンパスクリーンウィーク」の期間中、教室の清掃活動等を行いました

<http://www.hue.ac.jp/tagblocks/news/news/topics/0000008040.html>

【7/23】平成26年度全日本学生テニス選手権大会に出場する硬式庭球部と第90回日本学生選手権水泳競技大会に出場する水泳部の壮行会を挙行了しました

<http://www.hue.ac.jp/tagblocks/news/news/topics/0000008043.html>

【7/28】第37回全日本学生軟式野球選手権大会に出場する軟式野球部の壮行会を挙行了しました

<http://www.hue.ac.jp/tagblocks/news/news/topics/0000008049.html>

■2学期キャリアアップ・プログラム(CP)講義の授業計画ご紹介

今回は2学期の水曜日は2講座あります。『確率・統計入門』エントリー(入門)科目と『マーケティングの基礎』(ベーシック)科目の授業計画(シラバス)をご紹介します。

【お申込みは】 <http://www.hue.ac.jp/lecture/careerup/procedure.html#>

【受講者の声をご覧ください】

2013年度の受講者の声に、昨年度開講した『確率・統計入門』と『マーケティングの基礎』の受講者の声を紹介しています。

2013年度2学期 <http://www.hue.ac.jp/lecture/careerup/voice2013.html#2term>

2014年度1学期 <http://www.hue.ac.jp/lecture/careerup/voice2014.html>

科目名	確率・統計入門 エントリー(入門)科目	
講義日	10月22日、29日、11月5日、12日、19日、26日 毎週水曜日 計6回	
担当者	前川 功一 (本学学長 経済学科 教授 CP運営委員会委員長)	
副題	確率・統計を初歩から学び、生活や仕事に役立てたいと思っているあなたのために	
対象者	学校で習った確率・統計を忘れてしまった、またはまったく習わなかった、しかも中学校レベルの数学の予備知識しか持っていないという方が、確率・統計を初歩から勉強して生活や仕事に役立てたいと思っているようなケースを想定して講義を組み立てる予定です。	
到達目標	中学レベルの数学で確率・統計を分かりやすく説明し、最終的には受講者に皆さんが、簡単な中級レベルのデータ分析ができるようになっていただくことを目標にしています。	
概要	グラフ、表、実際の統計データを用いながら確率・統計の考え方を中学レベルの数学の範囲で直感的に分かるように説明します。	
授業内容	第1回 10/22	データの整理(度数分布表)と基本統計量(度数分布、平均、分散など)の計算と意味
	第2回 10/29	データのばらつきと集中度の尺度(標準偏差、ジニ係数)と標準化。偏差値の意味。
	第3回 11/5	確率に関する基本概念(事象と確率、確率変数、期待値、分散)
	第4回 11/12	相関分析、回帰分析

	第5回 11/19	確率分布(2項分布、ポアソン分布、正規分布など)とその応用
	第6回 11/26	リスク・マネジメントと確率・統計 -金融工学への扉-
授業の形式	座学	
授業の進め方	簡単な数値例、現実のデータなどを使って実際に表やグラフを作ってみせながら、またいろいろな基本統計量を計算して見せながら講義を進めます。	
教材費などの追加負担	教材費の負担はありません。	
受講者へのメッセージ	数学の苦手な人にも理解してもらえるように講義するつもりです。この講義で使う数学を理解するためには、中学までの数学の知識があれば十分です。数式は外国語のようなものです。数式が出てきたら日本語に翻訳すればいいのです。この講義を通して、数式を日本語へ翻訳する方法を学んでください。	
講師紹介 (自己紹介)	<p>前川功一 (学長 経済学部 経済学科 教授 経済学博士)</p> <p>1943年生。1967年広島大学政経学部(当時)卒業、1969年一橋大学大学院修士課程修了。以後広島大学に勤務。経済学部長、教育担当、財務担当副学長などを歴任後2007年同大学を定年退職。この間ロンドン大学、ウエスタンオンタリオ大学など海外の大学で研究。1997年 Econometric Theory Award 受賞。2007年広島経済大学に就任。2008年学長就任。日本金融・証券計量・工学学会会長。統計学、計量経済学、計量ファイナンスが専門。国内、国外の専門雑誌に多数の論文を執筆。専門的研究のほかに統計学をやさしく解説することにも力を入れている。例えば教科書「エクセルによる統計処理入門」(共著。エコノミスト社)、一般向け解説記事「金融工学への誘い」(雑誌「広島人」に連載。ホームページ http://www.hue.ac.jp/prfssr/rcfe/index.html にも掲載)などがある。</p>	

科目名	マーケティングの基礎 ベーシック(入門)科目	
講義日	10月22日、29日、11月5日、12日、19日、26日 毎週水曜日 計6回	
担当者	細井謙一	
副題	「売るのは営業に任せておけ」では済まなくなってきたあなたのために	
対象者	マーケティングを始めて学ぶ人、マーケティングを基礎からおさらいしたい人、マーケティングに直接関係しない部署に配属されているがマーケティング・センスを持ちたいと思っている人、マーケティング関係の仕事についてはいるが自分の仕事を基礎から整理しなおしたい人	
到達目標	マーケティングの全てを6時間でマスターするのはもちろん無理です。その代わりに、この講義では、「マーケティングの本やニュースを自力で読みこなすための基礎」をマスターすることを目標とします。	
概要	モノを作れば売れたハッピーな時代は終わり、どんな部署でもマーケティング・センスが求められています。この講座では「マーケティングなんか知らなくてもいいはずなのに」という方を対象に、マーケティングを基礎からしっかり学んでいきたいと思います。	
授業内容	第1回 10/22	マーケティングとは何か
	第2回 10/29	「製品」をどう考えるか
	第3回	「価格」をどう考えるか

	11/5	
	第4回 11/12	「プロモーション」をどう考えるか
	第5回 11/19	「流通チャネル」をどう考えるか
	第6回 11/26	マーケティングの hot issue
授業の形式	座学	
授業の進め方	レクチャー中心 宿題なし 第2回目以降は基本的に1話完結型です	
教材費などの追加負担	講義そのもので追加の負担は予定しておりません。講義後の「2時間目(任意参加)」を積極的に開催する予定ですので、そちらは各自ご負担願います(笑)	
受講者へのメッセージ	基礎講座ですので、基本に忠実で分かりやすい講義を心がけたいと思います。第6回の「マーケティングの hot issue」は、営業活動や企業間ネットワークなどの話題を準備していますが、ご希望があれば、受講者の方の関心の高い話題について解説させていただくようにしようと思っています。	
講師紹介 (自己紹介)	細井謙一 (経済学部 経営学科 教授、経営学科主任) 1968年新潟生まれ、明治大学商学部、神戸大学大学院経営学研究科単位取得満期退学。専門はマーケティング。文部科学省科学研究費、吉田秀雄記念事業財団等の助成による、営業活動、産業財マーケティング、企業間ネットワークなどに関する助成研究多数。主な著書に『営業の本質』(有斐閣)、『日本型マーケティング』(千倉書房)など。『1からのマーケティング』(碩学舎)など、教科書も多数執筆。株式会社アスカネット取締役(社外取締役)。	

■2 学期カルチャー講座(CS)の授業計画ご紹介

少し気が早いかもしれませんが、2 学期のカルチャー講座のご案内をいたします。

現在、NHK 大河ドラマで放映されている『軍師官兵衛』を観ておられる方も沢山いらっしゃるかと思います。この戦国時代に生き抜いた人々を焦点に当てた講座が2 学期のカルチャー講座です。

歴史のお好きな方や、講師の長谷川先生からの受講者へのメッセージにありますように、乱世を生きた人々の息吹を感じる時間にしましょう！

お申込みは <http://www.hue.ac.jp/lecture/culture/index.html> から宜しくお願いします。

※締め切りは9月18日木曜日ですが、定員20名になり次第募集は打ち切りますのでご了承ください。

■2 学期キャリアアップ・プログラム(CP)/カルチャー講座(CS)ラインナップ

Ctrl キーを押さえながら講座名をクリックすると授業計画(シラバス)がでできます。

CP/CS	講座名	開講曜日	開講日(計6回)
CP	財務会計の基礎	月曜日	10/6,10/20,10/27,11/10,11/17,12/1
CP	歴史から読み解く日本の企業経営		
CP	国際金融の基礎	火曜日	10/21,10/28,11/4,11/11,11/18,11/25
CP	ゲーム理論の基礎		
CP	確率・統計入門	水曜日	10/22,10/29,11/5,11/12,11/19,11/26
CP	マーケティングの基礎		

CP	コーポレートファイナンスの基礎	木曜日	10/23,10/30,11/6,11/13,11/20,11/27
CP	Excel で学ぶデータマイニングの基礎		
CP	実務に役立つ経理入門	金曜日	10/24,10/31,11/7,11/14,11/21,11/28
CP	経営戦略論の基礎		
CS	乱世を生きた人々 ～戦国軍記の群像～	水曜日	10/22,10/29,11/5,11/12,11/19,11/26

お申込みの際は必ず授業計画(シラバス)をご覧ください、講義内容をご確認の上お申込みください。

■ネパール騒動記

ネパールからナマステ

Written By Packer Taka

第1話 Touchdown in Nepal

2011年7月、羽田からタイのスワンナプーム国際空港で乗り継いで、ネパールの首都カトマンズのトリブバン国際空港に降り立った。飛行機の中からヒマラヤの山々が少しでも観えないかと期待していたが、やはり7月の雨季の真ただ中のためか、分厚い雲が覆いかぶさって飛行機の下景色は全く観えなかった。当初から嫌な予感が頭をよぎる。

タラップを降りて滑走路からバスで空港ターミナルへと移動。ここまでは今までの旅行と全く変わらなかったが、空港ビルに入ると途端に何故か、『ネパールに来るんじゃない。』と頭の中をよぎった。何に対し嫌悪感を抱いたのか自分自身の本能的な反応で分からなかったが、2度目のバックパッカーの旅が、この先の旅を不安がらせたのかもしれない。

これから以下に書き述べることは、ワシ個人の感覚であり偏見なので、読者の方におかれては何ら参考にしていただく必要もないし、『そうなんだ。』と判断していただくと、ネパールの国や国民に対して申し訳ないのでご勘弁願いたい。



まず煉瓦作りの空港ビルの床が気にいらなかった。壁と床の間には所々、外が見えるくらいの穴が開いているのだ。何で空港ビルの壁と床の間に煉瓦1個抜いた位の穴が開いているのかという疑問…。何故という疑問から嫌気が差したのだ。好きや嫌いとは直感的なもので理屈は無いものだ。もし、この穴が建物の水抜き穴なのか？と言うことは、建物の中から外へ水が出るということだろうから雨漏りでもするのか、またはホウキで集めたゴミをその穴から外へ捨てるつもりなのか…妙な所へ目が行ってしまっって『ネパールは嫌だ』と思ったのも自分自身、信じられなかった。

空港ビルを出ると初日に泊まるゲストハウス(以下“GH”)から迎えのタクシーが来ていたのでそれに乗り、バックパッカーの移住地(?)である『タメル地区』へ移動した。

途中、インドの話には聞いたことがあるが、『野良牛』が道を我が物顔で通って…いや立ち止まっている。なんだか、わざと道路の真ん中に立ち止まり人間の邪魔をしているように見えた。自動車は自動車同士や人間や自転車、リキシャに対してはクラクションをうるさく鳴らす、牛に対しては彼らが歩き出すのを待ってアクセルを踏む。街の至る所へはゴミが捨ててあり、交差点には何故かシャツやセーターなど衣類が捨ててあり山となっていた。『何でここに捨ててあるの?』と思わず絶句…。

いくら登山家の野口健さんが、エベレストの清掃活動をして、国民性と言うか、ゴミを捨てても罪悪感が無いんだからゴミが無くなるはずはないのだ。最近の日本でも道路、歩道に食べ終わった食品の包装紙、コップ等がそのまま置いてあるが、何でも法律で規制するのはあまり好きじゃないが、エベレストの清掃活動より、ゴミを捨てると町内、または地域、ましてや地球環境がどうなるのか、学校教育や家庭教育で道徳を教えるしか方法は無いのではないだろうか。

街の空気はホコリで汚れ、通行人やバイクに乗っている人のほとんどの人がカラフルなマスクをしており、自動車のクラクションはうるさく、カトマンズに着いて1時間も経たないうちにワシの身体と脳が完全に拒否してしまった。

しかし、幾ら嫌だと思ってもこれから2週間後、帰りの飛行機が出るまで泣いても笑っても、自分に課した Misson in Nepal の課題を一つひとつやっていくしかないのだ。



This story is to be continued.

■読者の皆様からのエッセーの投稿をお待ちしております

皆様からのエッセーを募集しています。日常の出来事、つぶやき何でも構いません。また匿名やペンネームで結構です。ご投稿をお願いいたします。(個人情報の取り扱いは十分配慮いたします)

【エッセーご寄稿頂ける方は】

どなたでも結構です。ご寄稿頂ける方は career-up@hue.ac.jp または 082-871-9345 までご連絡ください。掲載の日程をご連絡いたします。

■今回の CP 通信は

様、今回の CP 通信はいかがでしたでしょうか。

これからも広島経済大学から色々な情報を発信していきたいと存じますので、忌憚のないご意見やご提案等をいただければ幸いです。

E-mail career-up@hue.ac.jp までお願いいたします。

■キャリアアップ・プログラム(CP)やカルチャー講座(CS)または本学に関する、ご質問やお問い合わせは下記の連絡先へご連絡ください。

731-0192 広島市安佐南区祇園五丁目 37-1

広島経済大学 教育・学習支援センター

お問い合わせは電話番号(082)871-9345 または E-mail career-up@hue.ac.jp までどうぞ。

HUE 広島経済大学
CAREER UP PROGRAM